

2013年度 第1四半期 決算説明会
主な質疑応答

Q1: デジカメの販売状況と収益改善施策について教えてほしい。

A1: 1Qの販売実績は約140万台で、年間では700万台を見込んでいる。これはスマホによるデジカメの需要減を織り込んだ数値である。残念ながら1Qは赤字だったが、今後は固定費の削減を推進して年間での黒字化を目指し、仮に700万台を割り込んだとしても対応できる体制を早急に立ち上げる。

Q2: 株価を上げていくために、どのような施策を行っていくのか？

A2: トップラインを上げて、コストを下げて、利益を上げていくと共に、資産効率を上げていくことで、ROEを着実に高めていきたい。

Q3: 株主還元についてはどう考えているのか？

A3: 当社の基本的な株主還元は配当であるが、手持ちのキャッシュの状況を見ながら、自社株買いも視野に入れて検討したい。

Q4: 光学デバイス事業と電子映像事業を統合した狙いはどこにあるのか？

A4: もともとこの2つの事業部は共同で活動し、補完的な関係にあった。今回の統合では、生産性の更なる向上と製品開発や販売面でのシナジー強化により、両者の拡販と収益性改善を図っていく。

Q5: ドキュメントはアジア・オセアニアが成長しているとの説明があったが、国内はどうなっているのか。また、今後のドキュメント・マーケットの見通しはどうか？

A5: 国内売上高はほぼ横ばい状態である。景気回復の影響もあり、CVは増加した。事業別には特にグローバルサービスが好調である。ドキュメント事業全体では、2Q以降も堅調に推移すると見ている。

以上